

講義名称	現代地方自治	担当教員名	堀田 学
科目群	自己発見		
科目区分等	地域を知る	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	

授業のキーワード	地方分権、地方自治、協働
授業の概要	身近な行政として地方自治体があります。地方自治体も都道府県と市町村があります。この地方自治体と中央政府との関係、そして地方分権が進むなかでの地方自治体の役割についての理解を深めることを目的とします。
期待される学習成果（目標）	1. 身近な地方自治体のことを勉強することで地域の抱える課題を認識します。 2. 地方自治の変遷と歴史を理解することができます。 3. 今後の地方自治の展望について考える力をつけることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	地方自治とは何か	授業のオリエンテーションと地方自治についての説明をします。
2	日本の地方自治の歴史	明治からの日本の地方自治をふりかえります。
3	地方分権改革	1990年代以降の地方分権改革について説明します。
4	市区町村と都道府県	自治体の区分・構造・再編について説明します。
5	地方議会と選挙のしくみ	地方自治における選挙と代表について説明します。
6	議会と執行機関	首長と議会の関係など政治機構面での統治システムを説明します。
7	自治体の行政組織のしくみ	自治体の行政組織について説明します。
8	地方公務員制度	地方公務員制度と人事管理について説明をします。
9	自治体の財政のしくみ	地方財政や自治体の予算について説明します。
10	住民参加とコミュニティの役割	住民・住民組織と自治体について説明します。
11	福祉政策のしくみ	自治体における福祉政策について説明します。
12	教育政策のしくみ	自治体における教育政策について説明します。
13	まちづくり・景観・環境の役割	「まちづくり」について考えます。
14	産業政策と地域振興	産業政策と地域振興について説明します。
15	今後の自治体経営	人口減少、財政逼迫の時代における自治体経営について考えます。

定期試験	重要用語の理解、ならびに各講で取り上げた内容から出題します（記述も含む）。
評価方法	定期試験（100%）で評価します。 定期試験の受験資格として3分の2以上の出席が必要なので出席は毎回取ります。
使用する教科書（必ず購入してください）	『地方自治の基礎』一藝社、2017年（3月～4月刊行予定）
参考文献	磯崎初仁ほか編『ホーンブック地方自治（第3版）』北樹出版、2014年 佐々木信夫『東京の大問題！』マイナビ出版、2016年 宇賀克也『地方自治法概説 第6版』有斐閣、2015年